

Summer Internship Report 2018

College of Economics
RIKKYO University
Career program

Yoshimasa Osawa
Miki Sakuragi
Takase Hishida
Megumi Sugimura
Tomomi Tawada
Fumi Yamada



目次

はじめに	立教大学経済学部教授 三谷 進	ii
【受講生のインターンシップ報告】		
大沢吉正（経済学科3年）	E.OCT 株式会社	1
菱田崇世（経済学科3年）	株式会社大塚商会	7
櫻木美希（会計ファイナンス学科3年）	株式会社日本旅行	13
杉村 萌（経済政策学科2年）	オリエンタル酵母工業株式会社	19
多和田知実（経済政策学科2年）	株式会社フジタ	25
山田風美（経済政策学科2年）	公益財団法人キープ協会清泉寮	31
【外部講師授業報告】		
経営人事コンサルタント	船川 治郎氏	38
合同会社 WARM HEART/ 株式会社ころたち	代表取締役 古澤 彬氏	40
立教大学インターンシップ OG	常喜智子氏	42
立教大学キャリアセンター	林良知氏 藤澤瞬氏	43
立教大学インターンシップ OB・OG	滝沢亜耶乃氏 佐藤寿香氏 笹森祐輝氏	44
立教大学インターンシップ OG	川口真穂氏	45
学生の皆さんへ	立教大学経済学部キャリアサポーター 長島修子	46
おわりに	立教大学経済学部准教授 菊池航	47

はじめに

— 経済学部のカリキュラム教育と 2018 年度「インターンシップ」の授業概要 —

立教大学経済学部 三 谷 進

ここ数年、良好な経済環境を背景にして、大学生の就職率が向上しており、大学における就職活動のあり方も大きく変化してきました。特に、労働市場の流動化・柔軟化が進展するにつれて、多くの企業が多様なインターンシッププログラムを盛んに行うようになり、通常の授業期間中にインターンシップに参加するために授業を欠席するような学生も出てきました。

また、「ワンデイ・インターンシップ」のように、就職活動のかなり早い段階で、企業が学生との接点を求めてインターンシップを行うケースも増えており、企業と大学との就職協定のあり方も実質的に空洞化してしまっている状況に陥っています。さらに、2018 年 10 月には、経団連の中西宏明会長によって、従来の「就活ルール」の廃止が提唱されるなど、今年度は、就職活動における企業と大学との関係性をどのように再構築していくかが重要な課題となっていました。

そのような中で、立教大学経済学部は、2003 年度から正課科目として、全国の大学に先駆けてインターンシップを始め、本年度で 16 年目を迎えることになります。インターンシップについては、就職活動の一環として行われることが多いのが現状ですが、本学部では、「キャリア教育」の一環として、より広く社会における企業のあり方を考えながら、自分のあり方を見つめ直す機会として、また、学生の成長を促す重要な学びの場として授業を行ってきました。特に、経済学部では様々な経済分析や企業経営のあり方について学んでいきますが、それを自らの体験として企業活動のあり方と結びつけ、自己の研究や将来のあり方につなげて考えていくことができるようにしていくことが重要であると考えています。

今回のインターンシップを受講した学生たちにとって、これまで大学で学んだ知識や修得した能力を就業体験の企業活動の現場で自ら検証し、自分自身を客観的に再認識することができたことは非常に大きな意味があったと思います。さらに、その就業体験を踏まえながら、授業で様々なディスカッションを行うことで、自分にとって足りない知識や能力は何なのか、また、自分自身の社会性や人間としてのあり方はどうなっているのかということを深めていく重要な機会にもなったのではないかと思います。

また、本学部でのインターンシップは、多くの企業が行っているインターンシップとは異なり、一年間の長い期間を通じて、様々な文献を読み、企業での実践を行い、それらをフィードバックしながら自らのあり方を振り返ることで、大学生活における自己の目的意識を明確にし、将来のビジョンや展望を抱けるようにサポートしていくのが重要であるという理念をもとにしながら、その運営が行われています。

単なる「就活」対策としてのインターンシップではなく、将来の自分自身の人生のあり方をより深く考え、自己省察の契機を学生に与えることが、長い人生を主体的に生き得る力を学生につけさせる方法であり、より本質的な意味での「キャリア」支援であると考えています。より良い

社会を創り出すために、主体的なキャリア意識の形成を学生に促し、感性豊かな人材を社会に送り出すことは大学に課せられた責務であり、この責務を果たすために経済学部が取り組む教育プログラムの一つがこの「インターンシップ」科目となっております。

なお、2018 年度については 6 名の学生がインターンシップの授業を受講しました。春学期には、就業や雇用問題に関する様々な文献の輪読やディスカッションを行い、また、外部の社会人講師を通じて、ビジネスマナー講習等も行いました。特に、外部の社会人講師には、起業しながら様々な活動を行っている卒業生や人材教育コンサルタントにおいで頂き、学生と色々と議論する機会を設定しました。これら事前学習を踏まえて、夏季休業中に 2 週間(実質 10 日間)のインターンシップを実施しました。その後、秋学期には、受講生が個々の就業体験から得た知見や経験を再検証して、各自がその内容の自己定着を図り、さらに、その内容を受講生全員で共有するために全員でプレゼンテーションとディスカッションを行いました。

本年度も立教経済人クラブをはじめ、多くの皆様のご支援とご協力を得て授業を進めることができました。この場を借りてあらためて感謝申し上げたいと存じます。特に、立教経済人クラブからは全面的なご支援・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。煩雑な業務となるにもかかわらず、ご支援頂いた事務局の方々、ならびに快く学生を受け入れて下さった企業の皆様には、あらためて厚く御礼申し上げます。

また、受け入れのご協力を賜りながら、学生とのマッチングが成立せず、今年度はそのご厚意に応えることのできなかった企業の皆様には、この場を借りて、深くお詫び申し上げます。

なお、経済学部では 2012 年度から、キャリア教育のより一層の充実を目的に「経済学部キャリア教育改革プログラム」を展開してきました。

その内容の詳細につきましては、経済学部 HP(<http://www.rikkyo.ac.jp/eco/>)あるいはキャリア教育サイト「STORY」(<http://www.rikkyo.ac.jp/eco/career/story/>)をご覧ください幸いです。

それでは、今後とも、立教大学ならびに経済学部に変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

■2018 年度 受講生 6 名

	2 年		3 年		合計	
学科	男子	女子	男子	女子	男子	女子
経済学科	0	0	2	0	2	0
会計ファイナンス学科	0	0	0	1	0	1
経済政策学科	0	3	0	0	0	3
合計	0	3	2	1	2	4

■2018 年度 派遣先企業

- ・昨年度から継続して学生を引き受けて頂いた派遣先企業・団体

オリエンタル酵母工業株式会社、株式会社フジタ、公益財団法人キープ協会清泉寮

- ・今年度、新規に学生を引き受けて頂いた派遣先企業・団体

E.OCT 株式会社、株式会社大塚商会、株式会社日本旅行

- ・今年度、受け入れを表明頂いた企業・団体(上記の派遣先を除く)

安全自動車株式会社、株式会社企業変革創造、株式会社呉竹荘、カリモク家具株式会社
新日本ビルサービス株式会社

■インターンシップの事前・事後学習においては、船川治郎氏、古澤彬氏、本学キャリアセンターの林良知氏、藤澤瞬氏の皆様のご支援・ご協力を賜りました。あらためて感謝申し上げます。

E. OCT 株式会社

経済学科 3年
大沢 吉正



経済学科 3年

大山ゼミナール

東京都立北園高等学校

大沢 吉正 YOSHIMASA OSAWA

学生時代に頑張ったこと

私はゼミナールで農業と経済についての勉強をしています。ゼミナールでの学習を深めるために積極的に農業の現場に訪れました。ゼミナールの活動の一環として東京都東久留米市の農家の方のお手伝いをしました。また農業のボランティアで二年次に沖縄県の名護地域に、三年次に岡山県の久米南町に行きました。実際に農業の現場に訪れることは、農家の方の暮らしと仕事をリアルに体験できるので、とても勉強になりました。農地だけでなく、売り場の現場として青山のファーマーズマーケットの野菜の販売を手伝いました。農地で農産物の生産者の方と関わり、ファーマーズマーケットで消費者の方と関わることで農業に関する知識を深めることができました。

インターンシップに参加した理由

私がこの授業を受講したのは自分自身の生き方について考える機会が必要だと思ったからです。就職活動を控えた三年次の大学生活で、それまで以上に自分の将来の仕事や生活について考えるようになりました。私は漠然とではありますが、仕事だけでなく生活や趣味も充実させたいと考えていました。そのためには就職活動という短い期間ではなく、常に自分の生き方について考え続けなければいけないと思います。またこの授業で将来のことに関して他の受講者と意見を交換したいと思いました。自分と同じ年代の人がどのような考えを持っているのか、また真剣に議論できる機会はとても貴重だと思います。



インターン先 E.OCT 株式会社

企業理念

- ・革新の気概とやさしさをもって、社員の生きがいと豊かな暮らしを実現する
- ・人そして地球環境のサステナビリティに貢献する

企業紹介

歴史

＜株式会社オフィスオクト＞

1987年に株式会社オフィスオクトを設立し、広告制作や展示会のプロデュース、リゾート計画立案から建築コンセプトづくりまで幅広く業務を手がける。

2004年企画・制作事業終了。サステナブル製品の販売へ事業転換。

＜株式会社エンヴァイロテック＞

1990年、スウェーデン オーワック社の日本総販売代理店となる株式会社エンヴァイロテックを立ち上げ、環境機器の輸入販売を開始する。

その功績が認められ、2000年に Swedish Trade Council Grand Award を受賞。

＜E.OCT 株式会社＞

2011年1月、株式会社オフィスオクトと株式会社エンヴァイロテックを一つにし、E.OCT 株式会社を設立。

「ひとりひとりの暮らしから、快適なサステナブル社会を作る」をミッションとし、北欧を中心とした暮らしに役立つ日用品を販売している。

2012年直営店 ecomfort を本社1Fにオープン、2013年にオンラインショップをスタートする。

主力ブランドは KLIPPAN(スウェーデン)、Dr.Beckmann (ドイツ)、MQ Duotex (スウェーデン) e.スポンジワイプ (スウェーデン) など。

事業内容

北欧・ヨーロッパを中心としたサステナブルで環境にやさしい製品の輸入・卸

日程

1 日 目	2 日 目	3 日 目	4 日 目	5 日 目
オリエンテーション	管理本部研修	商談同席	事業説明 掲載誌リスト作成	SDGs ミーティング
6 日 目	7 日 目	8 日 目	9 日 目	1 0 日 目
商談同席	店舗訪問	予算達成ランチ 買い出し	商談同席 店舗訪問	振り返りミーティング

業務内容

オリエンテーション

事業説明

ミーティング参加

店舗訪問

掲載誌リスト作成

発注書整理

商談同席

受け入れ企業からのコメント

とても真面目に爽やかに日々の業務や社員に向き合ってくださったと感じています。商談への同席や制作物、資料整理等、様々な業務への理解も早く、弊社の理念にも共感を感じてくださっていたため、短期でしたが1戦力として活躍してくださり、社員一同感謝しております。

目標設定

私が実習に行くにあたり設定した目標は2つありました。1つは環境問題に関する理念がどの程度会社全体に浸透しているかを実感することです。私自身が環境問題に関心がありながらも、生活の中で実践することはありませんでした。今回の実習で企業に勤める経験を積むとともに環境に関する知識を深めようと思いました。もう1つは社員の方に積極的に話しかけてたくさんコミュニケーションをとることです。実習中は企業に勤める社会人の方と話す機会が多いので、たくさんお話することを目標にしました。

学んだこと

今回のインターンシップの実習で学んだことは大きく分けて2つあります。1つは社会に出て働くということです。短期のインターンなどでは実際に働くというよりは、グループワークなどを他のインターン生と行い、企業についての説明を受けるものが多いと思います。今回は他の社員の方が働いている側での実習だったので、社会に出てから働くことをよりリアルにイメージすることができました。2つ目は、商品売るといことについて学ぶことができました。実習前に社長から商品売ること、どのように価格が決まるのかについて教えていただきました。実習中に小売店への店舗訪問なども行ったので、より具体的に商品の流れなどについても学ぶことができました。

目標の達成度と今後の目標

私の目標は企業の理念の浸透を知ること・たくさんコミュニケーションをとることでした。目標の達成度は90%ほどです。企業理念に関しては、多くの社員の方とお話で何度も聞かせていただき、理念が浸透していることが実感できました。実習先のイーオクトでは理想の実現に向けた試みが多いように感じました。なぜ100%の達成度でないかというと、もう一つの目標であるコミュニケーションをとることに関して、少し心残りがあるからです。私は打ち解けるきっかけを社員の方が作ってくださるのを待っていたように思います。初日から積極的に話しかけるべきだったと後悔しています。今回の反省を生かして、恥ずかしがらずに積極的に話しかけるようにしたいと思います。

メッセージ

企業の方へ

E.OCT 株式会社様、インターンシップの受け入れありがとうございました。私は今回のインターンシップに参加して、今後の指針を得ることができました。大学の3年という就職活動前の大切な時期に貴社にインターンシップをさせていただき、たくさんの経験ができました。私にとって二週間という期間のインターンシップに参加したのは初めての経験でしたので、初日はとても緊張していましたが、社員の皆様が温かく迎えてくださり、すぐに緊張が解けました。社長や社員の皆様が毎日たくさんのお話を聞かせていただき、自分の考えを見つめ直す機会にもなりました。本当にありがとうございました。

外部講師の方へ

たくさんの貴重なお話やご指導ありがとうございました。私がインターンシップの外部講師の方々とお会いして感じたのは、皆さんとても楽しそうに働いているということでした。その姿を見てお話を聞いて私も将来は生き生きと働いていきたいと思いました。インターンシップに参加する前のビジネスマナー講習や企業を見る際の視点についても考える機会を得られたおかげで、実習での経験がよりよいものになりました。貴重なお時間を割いていただき本当にありがとうございました。

受講検討生へ

私はこの授業を受講することで、就職活動について、自分の将来について考えることができました。普段、大学生活を送る中で真剣にそのようなことを考えることはなかったので、いい機会だと思い受講しました。自分のように漠然と就職活動や将来について考えたいと思っている人には、この授業はとても実のあるものになると思います。その理由はこの授業の特徴である、少人数制という授業スタイルにあります。今年は10人以下の受講生なので、講師と学生が非常に近い距離で話をすることができます。また通年科目なので比較的長い期間で課題と向き合うことができます。受講する方の就職活動・将来の目標について考えるきっかけになると嬉しいです。

株式会社 大塚商会

経済学科 3年
菱田 崇世



経済学科 3年

立教大学スペインギタークラブ

神戸国際大学附属高等学校

菱田 崇世 TAKASE HISHIDA

学生時代に頑張ったこと

私はクラシックギターのサークルに所属しています。初めて触れる楽器だったので慣れないことが多く未だに勉強すべきことが多いものの、皆で弾くことが楽しくより上手くなろうとよく練習をしていました。また、練習だけでなくサークルの運営についても頑張りました。5月と12月の演奏会の運営、立教大学の学園祭である St. Paul Festival(SPF)の運営など3年次はとても忙しい年でした。

インターンシップに参加した理由

3年生になったとき、私は就職活動や働くことが具体的にどのようなものなのかがわかりませんでした。まず何をすべきかもわからなかったため、インターンシップ前にマナーなどを教えてもらえ、外部講師の方の話を聞け、事後報告にて他の人の体験についても知ることができるこの授業を受講しようと思いました。また、基本的に2週間の長期インターンシップに一人で行くことができるため、より仕事について知ることができるのではないかと考えたからです。



インターン先

大塚商会

企業理念

「IT でオフィスを
元気にする」

企業紹介

歴史

1961年7月17日、東京・秋葉原にて複写機と感光紙を取り扱う販売会社として創業しました。社名の由来は「お客様に対する責任を表すため、あえて自分の苗字を社名に入れた」ということです。1973年に起こったオイルショックにより、電算機事業が低迷するも、同事業の強化を打ち出します。このとき、販売からアフターサポートまでを行うワンストップソリューションの発想が誕生しました。1984年に、ソフト開発力を強化するため、技術部門を分社化し、大塚エンジニアリング(現：株式会社OSK)を設立しました。1980年代にパソコンLANの可能性に着目していた大塚商会は独立系販売会社の強みを生かして取扱メーカーを増やし、マルチベンダーを実現していきました。

2000年7月には東証一部への上場をしました。また、2006年に複雑化していたサービス&サポート事業を2つのブランドに分け、利用しやすい環境を整えることで売り上げを伸ばしていきました。リーマンショック下においてもこのストックビジネスは経営環境を下支えし、不況時のリスク分散に成功しました。オフィスを取り巻く環境の変化に伴い、サービスを多様化してきましたが、創業から変わらず地域に密着し、きめ細かいサービスを提供できる「町の電器屋さん」になるという考えは変わりません。今後も企業のあらゆるニーズにこたえ、日本企業のIT化を支えていく唯一無二の企業として成長を続けています。

事業内容

システムインテグレーション事業

サービス&サポート事業

日程

1 日目 IT 業界 大塚商会の説明	2 日目 パンフレット作成 PowerPoint 研修	3 日目 SE インターン シップ見学 パンフレット作 成	4 日目 営業体感型 インターンシッ プに参加	5 日目 面接受付
6 日目 制作物発表	7 日目 PowerPoint 作成	8 日目 プレゼン研修	9 日目 PowerPoint 作 成	10 日目 制作物発表

業務内容

全体として、合同説明会における資料作りを行いました。大きく分けて 1 週間目はパンフレットの作成、2 週間目は説明会の資料作りと合同説明会の模擬プレゼンを行いました。1 週目ではパンフレットのターゲットを決めるうえで大塚商会が行っている営業と SE のインターンシップに参加する他の学生の様子を見学させていただきました。実際に参加することで、具体的なターゲットのイメージを掴むことができました。2 週目では実際に行っているプレゼンテーションを見せてもらい、説明会でのポイントなどを教えてもらいました。

受け入れ企業からのコメント

IT 業界と当社についての理解を深めた上で、新卒採用担当の広報業務を体験してもらいました。採用ターゲットに対して、当社のことを魅力的に伝えるにはどうすればよいかを真摯に考え、自分なりの工夫を盛り込んで形にしてくれました。

目標設定

私の目標は4つあります。1つ目は、人事部の方々の仕事のイメージは説明会やインターンシップで前に立つものというものだったので、他にどんな仕事があるのかを知りたかったのでそれについて知ることでした。

また2つ目は、営業とSEの仕事についてもパンフレット作成やインターンシップ見学・体験を通じて知ることです。

3つ目は、制作物の発表でよりよいフィードバックをもらうために日々考えることです。4つ目は、インターンシップ初日に注意されたことですが、働くことの大変さを知るうえで残業を行わないことを目標としました。

学んだこと

私がこのインターンで学んだことは、実際に働くことを意識できたことです。9時から17時まで5日間連続で働くことは社会人の方々にとって当たり前ではあるものの、私はこれまでそのような体験が少なかったため、働くことの大変さが漠然としてではあるもののイメージできたことが個人的に嬉しかったです。また、インターンシップ中の活動を通じて、制作物を作るうえでのポイントや、プレゼンテーションを行う時のポイントを教えてもらえたことは、これからの人生でも生きていくと思いました。

目標の達成度と今後の目標

営業やSEについて知るという目標については、インターンシップに参加したり、見学の際に社員の方に質問ができた、パンフレット作成資料として頂いた例年のパンフレットを読むことで、かなり知ることができたと思います。また、人事部の仕事についても説明会のような華々しい部分しか知らなかったのですが、裏の地道な部分を体験でき、知ることができたので良かったと思います。制作物に関しては、パンフレットは厳しいコメントが多かったものの、模擬プレゼンではお褒めの言葉をもらえたので達成度としてはだいたい50%くらいだと思います。残業をしないことでは、休日に1日制作物を作っていたので達成度としては80%だと思います。

メッセージ

企業の方へ

採用とインターンシップの重なるお忙しい中、2 週間も受け入れてくださりありがとうございます。インターンシップの中で教えてもらったことや、体験したことは貴重な内容のものが多く、教えてもらったことを無駄にしないためにも就職活動を頑張っていこうと思います。

外部講師の方へ

たくさんの貴重な体験やマナーについてお話していただき、ありがとうございました。とても楽しく様々なことを教えてくれたことが印象に残っています。ビジネスマナー講習はインターンシップで役立ったと思いますし、就職を終え社会人になった後もとても役立つ重要なことだと思います。お忙しい中、お越しくださり本当にありがとうございました。

受講検討生へ

私はこの授業を通じて就職活動を意識することができました。私の周りにはあまり就職活動に積極的な人が多くなかったため、受講生全員が就職活動を目的に集まっているこの授業では周りの人を見て「自分も頑張らないと」という気持ちになり、また、外部講師の方々の楽しそうな仕事の話やインターンシップ先の楽しそうに働く方々をみることで就職活動に前向きな考えが持てるようになりました。なので、私は特に就職活動をまだ考えていない人にこの授業を勧めたいと思います。

株式会社 日本旅行

会計ファイナンス学科 3年
櫻木 美希



会計ファイナンス学科 3年

三谷ゼミナール

テニスサークル

吉祥女子高等学校

櫻木 美希

MIKI SAKURAGI

学生時代に頑張ったこと

私が学生時代に頑張ったことは、ゼミナール活動とアルバイトです。私の所属するゼミでは金融・証券に関する研究を行い、年に1度全国から多数の学生が参加する証券ゼミナール大会に出場しています。活動を通して論文執筆、ディスカッションやプレゼンテーション能力を高めることができました。また新聞やニュースを見る習慣ができ、学ぶことの楽しさを覚えました。アルバイトはレディースアパレルショップでお客様に商品を提案し販売しています。個人予算の達成率を上げるために日頃からお客様の行動の分析やコミュニケーションの取り方、距離感について考えています。どちらの活動も目標を立てて行動し、自分の考えていることを相手に分かりやすく伝えることを心がけました。

インターンシップに参加した理由

私がこの授業を選んだ理由は3つあります。1つ目は2週間のインターンシップに参加できることです。この授業で参加するインターンシップは一般的なインターンシップと違い、現場を見ることができるという大きなメリットがあるからです。2つ目は良い企業を見極める力を養うことができるからです。社会問題や就活をテーマにした授業内のディスカッションや、様々なゲストスピーカーの方から生の声を聞き質問する機会を通して、IR情報だけではなく定性的な物の見方を身に付けたいと思いました。3つ目はディスカッションやプレゼンテーションの機会を増やしたいからです。ゼミナール活動でもこれらの機会がありますが、もっと上手くできるようになるために場数を踏みたいと思いました。



インターン先
新宿法人営業部

経営理念

日本旅行は、あふれる感性とみなぎる情熱を持って、魅力ある旅の創造とあたたかいサービスに努め、お客様に愛され、未来を拓くアクティブカンパニーを目指し、豊かな生活と文化の向上に貢献します。

企業紹介

歴史

1905 年に列車による団体旅行の実施により創業した、現存する旅行会社の中で最も歴史のある旅行会社。1927 年に第 1 回朝鮮視察団による最初の海外旅行を実施。1941 年に戦争の深刻化に伴い廃業。そして、戦後 1949 年に（株）日本旅行会として再発足した。1970 年に海外旅行パッケージツアー「ベストツアー」、1972 年に国内旅行パッケージツアー「赤い風船」の販売を開始。1993 年には映画会社とタイアップした『ゴジラロケツアー』を開催し、1200 人が参加。1995 年に日本で初めてスポーツ観戦ツアーを開催する。そして 2001 年に JR 西日本 Tis 本部と事業統合し、JR 西日本グループとなる。2012 年に「赤い風船 JR じゃらんパック」の提供を「じゃらん net」上で開始。2017 年には現地発着ツアーポータルサイト「TabiSaki」をオープン。

事業内容

・旅行業法にもとづく旅行業（国内・海外旅行業務）

団体旅行

教育旅行・MICE・BTM・インバウンド・地方創生の営業

個人旅行

店頭販売・インターネット販売・商品企画・提携販売

日程

1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目
午前 内勤業務	午前 ワークショップ	午前 営業 3 件	午前 営業 1 件	午前 営業 3 件
午後 内勤業務	午後 営業 2 件	午後 営業 4 件	午後 営業 1 件	午後 営業 3 件
6 日目	7 日目	8 日目	9 日目	10 日目
午前 営業 3 件	午前 営業 2 件	午前 営業 1 件	午前 営業 1 件	午前 内勤業務
午後 営業 4 件	午後 営業 4 件	午後 営業 2 件 内勤業務	午後 営業 1 件 内勤業務	午後 営業 2 件

業務内容

初日は新宿法人営業部の内勤業務の方の仕事内容について説明していただきました。2日目からは毎日営業社員の方の商談に同行し、1日中外回りをしていました。既存のお取引先との商談だけでなく、新規セールスも行いました。

受け入れ企業からのコメント

社員と一緒に法人営業を体験頂きました。第一印象では大人しそうに感じましたが、関わってみるととても明るくて積極的。

若手社員との同行では自ら進んで新規セールスにチャレンジするなど将来が楽しみです。旅行会社に入って活躍する姿を見たいと思います。

目標設定

今回のインターンシップでの目標は4つあります。1つ目は法人営業を理解することです。私は以前から営業職に興味があり、中でも法人営業は学生の目に触れることがないため、働き方について知ることができるチャンスだと思いました。2つ目は理想の社会人像を考えることです。3つ目はインターンシップ日記を毎日つけることです。そして4つ目は積極的、自発的に動くことです。

学んだこと

このインターンシップを通してコミュニケーション能力の大切さを学びました。営業はまさにコミュニケーション能力を問われる職種ですが、ただ話し上手であることが望ましいのではなく、相手に自分の考えを分かりやすく的確に伝えることこそが何よりも重要だと思いました。そして、商談への同行を通してお客様目線で物事を考え、お客様の想像を超える提案をすることの難しさを感じました。人との繋がりが次の仕事のきっかけになることがあるそうなので、一つ一つの仕事に真摯に取り組みその場限りではない良好な関係性を築くことも大切だと思いました。同行させていただいた営業社員の皆様は、話を引き出すことが上手で人当たりの良い方でした。

目標の達成度と今後の目標

自分で掲げた目標は概ね達成することができました。法人営業について、仕事の完遂がゴールではないと学びました。この10日間沢山の社員の方とお話し考えた結果、自分の仕事に責任と誇りを持てる社会人が理想だという結論に至りました。そして毎日インターンシップ日記をつけたことで1日の振り返りができただけでなく、社員の方のお話を聞き漏らさないように意識して過ごすことができました。また、外回りから帰った後に時間が余ったことが多かったため、その日に同行した社員の方や内勤の方に手伝えることがあるか聞き、仕事を手伝わせていただきました。与えられた業務をこなすだけでなく、自ら動けたことで携わる予定ではなかったことも経験することができました。これからも何事も積極的に動くことを心がけ、自分の考える理想の社会人になれるよう努力したいと思います。

メッセージ

企業の方へ

お忙しい中で2週間という長い期間、インターンシップを受け入れてくださりありがとうございました。短期間のインターンシップ経験しかなく、初めはとても緊張していました。皆さんが温かく迎えてくださったおかげで、毎日が楽しかったです。就職活動を控える3年の夏休みに貴社のインターンシップに参加できたことが、今後の就職活動につながると思います。社員の方々の価値観なども伺うことができ、社会人として働く将来が想像できました。また、自分自身について見つめ直すきっかけにもなりました。2週間大変お世話になりました。

外部講師の方へ

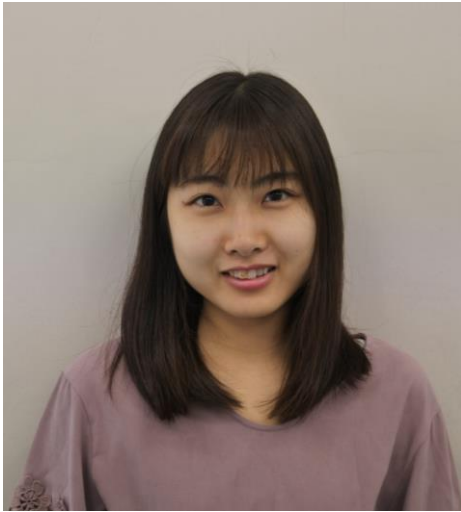
この度はお忙しい中ご講演いただきありがとうございました。講師の皆様は成功体験だけでなく過去の失敗談も話してくださったため、とても現実味があり共感するばかりでした。起業するまでのお話を聞いて、今現在ご活躍されている姿の裏には苦勞の連続があったということを実感することができました。また、ビジネスマナー講習で名刺交換のやり方を教えていただきましたが、実際にこのインターンシップの商談同行の際に名刺を頂戴する機会が何度もありました。早速実践することができたので良かったです。

受講検討生へ

このインターンシップという授業を通して、自分の考えを整理することができます。通常大学の講義では受動的な学びになってしまいますが、この授業は少人数制なので自らの意見を求められます。意見を求められると聞くと身構えてしまうかもしれませんが、見当違いな発言をしてはいけないということではなく、素直に自分の考えていることを伝えられる雰囲気です。今まで知り合いではなかったが「就活について、働くということについて考えたい」という共通認識を持った学生と、学生とは一段階違う視点で指摘して下さる教授と一緒にディスカッションをするので、自分の視野を広げることもできます。主体的に学びたい、自分の将来について少しでも考えてみたいという方には是非参加していただきたいです。

オリエンタル酵母工業株式会社

経済政策学科 2年
杉村 萌



経済政策学科 2年

田島ゼミナール

成城学園高等学校

杉村 萌 MEGUMI SUGIMURA

学生時代に頑張ったこと

私が頑張っていることは、ゼミ活動と英語の勉強です。ゼミナールの活動では、都市政策について勉強をしています。現在は、東京の都市の姿の変化を江戸時代から振り返り、これからの東京について考えています。時代が古ければ、情報量が少なく、また時代が新しくなるにつれて情報量がとても多いため、何に焦点を当てて情報収集するかが苦勞しているところです。また、同時に統計学習を行い、学んだ統計を使いより詳しく調べています。多くの情報をもとに、まとめ、考える力をつけることができていると思います。また、同時に将来英語を使えるようになりたいと思い、毎日英語を少しずつ勉強しています。英語学習の成果を感じることができるよう、短期留学に行く予定です。

インターンシップに参加した理由

私が、この授業を受講したのは、将来を考えるきっかけが欲しいと感じたからです。大学卒業後、自分がどのような職種で、どういう風に働きたいというのがありませんでした。そもそも働くということの想像が付きませんでした。このままでは、3年生から就職活動の準備をやり始めても分からないまま時間が過ぎてしまうのではないかと焦りを感じ、2年生で受講することになりました。授業を行うにつれて、今の自分に何ができて、今後どのような学生生活を送っていけば、後悔のない学生生活を送り、卒業後、納得のいく生活を送ることができるかという就職だけに止まらず、考えられることに繋がっていると思います。

オリエンタル酵母工業株式会社

インターン先

オリエンタル酵母工業株式会社

企業理念

日清製粉グループ

「健康で豊かな生活づくりに貢献する」

企業紹介

歴史

1929 年に、当時の大日本麦酒株式会社常務取締役の植村澄三郎氏、日清製粉株式会社取締役社長の正田貞一郎氏等の発起により、現在の東京都板橋区に日本初の製パン用イースト製造会社として発足しました。1949 年には、株式を東京証券取引所に上場し 1998 年には、米国に 100% 出資の子会社 OYC International, Inc を設立しました。(なお、2009 年に OYC Americas, Inc. に商号を変更しました)。2007 年には、オランダに 100%出資の子会社 OYC EU B.V を設立し、2008 年には、中国に 100%出資の子会社である東酵（上海）商貿有限公司を設立しました。2010 年には、株式会社日清製粉グループ本社の株式公開買い付けにより、同社の 100%子会社となり上場廃止しました。2012 年には、インドに株式会社日清製粉グループ本社との共同出資により Oriental Yeast India Pvt. Ltd.を設立しました。

事業内容

酵母にこだわる事業展開を行い、食品事業とバイオ事業があります。

食品事業

「パンの窓を通して考える」を事業展開の原点として、製パン・製菓企業をはじめデリカテッセン、外食産業といった幅広いお客様に、イースト、フラワーペースト、マヨネーズなどの食品素材を開発し提供しています。

バイオ事業

創業以来蓄積した酵母の研究を基礎とし、細胞から生体レベルまでの幅広い分野で、バイオテクノロジーを駆使し、先駆的な事業展開を行っています。診断および製薬支援、基礎研究支援、創薬支援等を行っています。

日程

1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目
オリエンテーション 埼玉工場見学	東京営業部 商談同行	東京営業部 パンの市場調査 勉強会参加	東京営業部 商談同行	営業企画室 新商品考案 提案資料作成
6 日目	7 日目	8 日目	9 日目	10 日目
営業企画室 提案資料作成 発表	オリエンテーション（おさらい） 東京工場見学	東日本バイオ営業部 企業の研究所の見学	バイオ事業本部 商材の立案・計画 資料の作成 拡販施策についての議論	バイオ事業本部 商談同行

業務内容

オリエンテーション
商談同行
パンの市場調査
新商品考案、提案資料作成、提案
計画資料の作成
拡販施策についての議論

受け入れ企業からのコメント

1 日目は非常に緊張されていまして、無事に実習を受けられるか心配をしましたが、徐々に社員に挨拶や実習担当者に質問する等、積極的な姿勢で当社の実習に取り組まれていました。
2 週間のインターンシップお疲れ様でした。

目標設定

インターンシップを行うにあたって、3つの目標を持って取り組みました。1つ目は、食品業界を理解すること、2つ目は、営業の仕事を理解すること、3つ目は、企業の組織を理解し、社会人の働いている姿を間近で感じることです。これらの目標を達成するため、毎日小さな目標を立てること、毎日その日のうちに行ったことの振り返りと、感想を記録することを心がけて取り組みました。

学んだこと

今回のインターンシップで、営業の仕事と、食品事業・バイオ事業について学ぶことができました。営業は、その商品に対する十分な知識と、自らがその製品に対して魅力を感じていないといけないと実感しました。また、お客様から信頼を得る過程は大変であるけれども、そこで信頼を得ることができ、商品を使ってもらった時の嬉しさを感じることができるのが営業の魅力だと思います。また、食品事業、バイオ事業両方の事業について知ることができ、それぞれの業界の違いや、営業スタイルの違いを感じることができました。お話を聞いている中で、どちらも人の生活に密接に関わり、なくてはならないものだと思います、そういう仕事は魅力的だと思います。

目標の達成度と今後の目標

今回のインターンシップで、60%くらい目標を達成できたのではないかと感じています。食品業界について理解したいと思っていましたが、インターンシップをしていく中で、他の企業であったり、BtoC の場合であったらどうなっているのかという疑問を持ち、まだまだ理解する余地が多くあると思ったからです。営業の仕事や、働いている人の姿については、その方にしか聞けないエピソードの話を伺うことができたので、目標を達成できたのではないかと感じています。

今後の目標は、インターンシップを行ったことで人の健康に関する仕事をしたいと感じたので、食品や、医療の業界について見ていきたいと思っています。

メッセージ

企業の方へ

お仕事でお忙しい中、2週間という長い期間のインターンシップを受け入れてくださり、ありがとうございました。私にとって、初めてのインターンシップということもあり、とても緊張していました。しかし、社員の皆様がとても温かく迎えてくださり、とても充実した2週間を送ることができました。事業について詳しく知ることができ、お話を聞く中で働くということの楽しさを肌で感じることができました。また、2年生のこの時期にインターンシップを経験できたことは、私にとって将来を考えるとても良いきっかけとなりました。本当にありがとうございました。

外部講師の方へ

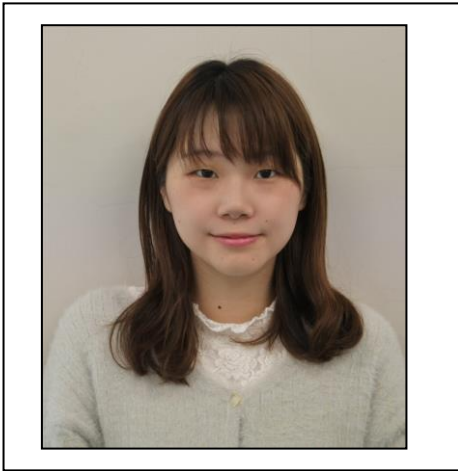
お忙しい中、授業でお話をして下さり、ありがとうございました。ビジネスマナーをほとんど知らなかった私にとって、社会人なら当たり前に行えることを学ぶことができたのは、今後とても役に立つと感じています。また、インターンシップに行く前に、どのような働き方をしているのか、どういう思いで働いているのかを聞くことができ、自分自身がどう在りたいか、インターンシップへ何を目標にするか考えることにつながったと感じています。お話を聞いたことを参考に、これからの将来を考えていきたいと思います。

受講検討生へ

私は、この授業を通して働くこと、就職活動について少しでも考えられれば良いと思って受講しました。実際に授業が始まると、就職だけでなく自分が将来どういうライフスタイルを送りたいかについても考えるきっかけになったと感じています。2年生だから早いと少し思っていたが、そんなことはないと思います。授業を通して、これからどういう風に活動していったら良いか学ぶことができ、何より2週間のインターンシップを経験することは、成長につながると思います。

株式会社 フジタ

経済政策学科 2年
多和田 知実



経済政策学科 2年

首藤ゼミナール

庶民吹奏楽団

県立横浜緑ヶ丘高等学校

多和田 知実 TOMOMI TAWADA

学生時代に頑張ったこと

私は労働経済について学ぶゼミナールに所属しており、主に労使関係や女性雇用について勉強しています。私は地域格差に興味があり、その原因は労働にあると考え、このゼミを選びました。春学期では保育士不足の解消のための研究をし、労働環境や教育制度の不十分さという原因の解消のための提言を考えました。現在は地方格差について学んでおり、なぜ若者は地域流出するのか、原因や傾向について調査しています。まだまだ一年目で知識が追いつかないことも多々ありますが、これからはしっかりと学んで自分の力にしていきます。

インターンシップに参加した理由

私がこの授業を履修した理由は、何か就職について考える機会や時間が欲しいと考えたからです。私は行動力がある人間ではないため、このままでは何もせずに過ごし、就活を迎えそうな気がしました。またそんな自分を変えるため志望しました。就活初心者でも先生からの指導や、他の受講生との意見交換を通して、成長できるのではないかと考えました。

また二年生という早い時期から就活を意識することで、よりじっくり考えられて、自分に合った仕事に出会えると思います。この授業をしっかりと受けることでこれからの就活の良いスタートが切れるのではないかと思います。



企業紹介

歴史

1910 年 藤田一郎氏・定市氏兄弟が広島市で土木・建築請負業を創業

1945 年 1939 年に施工した広島日赤病院が原爆に立ち残り、治療の拠点となりました。

2013 年 大和ハウスグループ入りをしました。

2015 年 大和小田急建設株式会社と株式会社フジタが合併しました。

事業内容

都市再生事業、海外事業などの幅広い事業を行っています。最近の大きな事業としては、日本で初めて、地上 60 階建てのマンションとなる「ザ・パークハウス西新宿タワー60」の建設や、JR 津田沼駅から歩いて 5 分程度のエリアの開発事業などがあります。

インターン先

株式会社フジタ

企業理念

自然を 社会を 街を
そして人の心を
豊かにするために
フジタは たゆまず働く

日程

8/27	8/28	8/29	8/30	8/31
オリエンテーション（人事部・ダイバーシティ推進部）	業務推進センター（出納） 総務部	財務部 技術センター	営業本部 現場見学	人事部お手伝い インターンシップまとめ
9/3	9/4	9/5	9/6	9/7
国際支社 情報システム部	人財開発部	業務推進センター（厚生） 経理部	交通事業部 総務部（広報）	インターンシップまとめ

業務内容

1 日もしくは半日ずつでいろいろな部署を回らせていただきました。座学やグループワーク、また実際に見学したり、お手伝いさせていただいたりと貴重な経験をすることができました。最終日にはまとめをパワーポイントで発表する機会があり二週間で得た経験をしっかり活かすことができました。たくさんの社員の方々の前でお話することはとても新鮮で、フィードバックもいただけてこれからの自分のためになったと感じています。

受け入れ企業からのコメント

インターン中は数多くの部署で実習をしてもらいましたが、どの部署でも主体性をもって行動ができていました。

また、短い期間の中でもPDCAサイクルを回し、何か吸収しようとする姿勢は大変素晴らしかったです。

目標設定

- ・実際に働くことを体験し、今後の勉強や活動に活かすこと
 - 労働環境を見てゼミや勉強に活かす。
 - 就活に対しての意識を見つめ直し、活かす。
- ・企業が地域にどう関わっているかを考えること
 - 建設業に興味を持ったきっかけである、街づくりや地域活性化にどう関わっているかを見たい。

学んだこと

実際に働いている姿を見てこれからの就活や自分が働くことのイメージが湧きました。私自身、就活や労働に対して明るいイメージがなかったのですが、実際に社員の方々のお話から働くことの楽しさが伝わり、これからの期待を持つことができました。また、技術の高さや進歩を身近で感じることで感動しました。また、自分の意識の低さや、礼儀作法の未熟さを痛感しました。これから正しい知識を身につけて、実際に生かせるようにしたいです。

目標の達成度と今後の目標

目標達成についてはあまり納得した結果になりませんでした。その理由としては自分の立てた目標が不明確だったこと、自分に積極性が足りなかったことだと考えています。初めの方は緊張していたこともあり、自分から動くことができずにただ指示を待っているだけでした。ただ、自分の学習の発展にはつながったと考えております。テレワークや、サテライトオフィスなど春学期に学んだことが職場でどう活用されているかなど、実際を見ることができてためになりました。また今でも学びとインターンシップでの経験をしっかり結びつけて考えるようになったため、より視野を広げた学習ができるようになりました。

メッセージ

企業の方へ

お忙しい中、私を優しく丁寧に指導してくださったこと、本当に感謝しています。生まれて初めてのインターンでとても緊張していましたが、皆さんの暖かさのおかげでたくさんの学びを得ることができました。企業とは、働くとはどのようなものかを間近で見させていただきました。ここでの経験は自分の勉強や就職活動、将来の仕事にもしっかりと活かしていきたいと思います。

外部講師の方へ

お忙しい中、私たちに貴重なお話をしてくださり、ありがとうございました。マナー講習では、最も社会人にとって必要な挨拶を一からご指導していただきました。実際にインターンシップ先で、ほめていただくこともあり、自分のためになったとしっかり実感できました。また、これからインターンシップに挑む私たちに対して、去年の経験を聞かせてくださったり、応援されるような人になるという新たな考え方を教えてくださったり、これから何を準備すべきなのかが明確に理解することができました。得た力はインターンシップにしっかりと活かすことができました。

受講検討生へ

授業で行うインターンシップは就活とは少し違った観点から挑めるのが最大の魅力であると感じました。就活のことは普段はあまり考えたくないかもしれませんが、週に一回この授業によってさまざまな視点を持つことができました。バックグラウンドが違う受講生との交流は自分の視野を広げることができました。特に二年生は無理なく今後のことを見つめなおす時間になるのでお勧めです。

公益財団法人 キープ協会
清泉寮

経済政策学科 2年
山田 風美



経済政策学科 2年

関口ゼミナール

成城学園高等学校

山田 風美 FUMI YAMADA

学生時代に頑張ったこと

私は大学生活を通して「継続は力なり」を意識し生活することを心がけました。なぜなら、これまでの生活の中で続けておけばよかったと後悔することが多かったからです。勉強面では、グループワークが中心である少人数制の授業を意識して履修しました。例えば、GLPでは企業に向けての提案がなかなか思い浮かばない中でも、最後まで諦めずに周りを巻き込みながら解決案を模索しました。また、留学せずとも英語を話せるようになるという目標を掲げ、英会話の勉強も継続しています。そして、アルバイトも1年生の頃から続けています。そのため今では、リーダーポジションを任されています。何事も一度始めると飽きることや、途中で諦めたくなることが必ずあると思いますが、続けることで結果は必ずついてくると実感しています。

インターンシップに参加した理由

大学に入学した当初から、就職活動についての悩みがたくさんありました。いつから始めればいいのか、今のうちからできることはあるのかと、心配事だらけでした。そのような中、発見したのがこのインターンシップという授業でした。2年生でも履修可能ということで、本格的な就職活動を始める前の土台をしっかりと身につけたいと考え履修しました。また、この授業はインターンシップに参加するだけでなく事前準備や参加後の振り返りも行えるということで、より密度の高い経験をすることができると感じたこともきっかけです。

法人紹介



インターン先

公益財団法人キープ協会

清泉寮

企業理念

「食糧」

「健康」

「信仰」

「青年への希望」

「環境教育」

「国際協力」

歴史

「清里の父」と呼ばれているポール・ラッシュ博士によってキープ協会の歴史は始まりました。ポール・ラッシュ博士により 1938 年（昭和 13 年）に建てられたキリスト教指導者研修施設の清泉寮がキープ協会の母体となっています。第二次世界大戦後の日本の農山村復興における新しい農村コミュニティの建設を通して、キリスト教に基づく民主主義を社会に普及、定着させることを目的にキープ協会は設立されました。ポール・ラッシュ博士は、農村の問題を解決することを目指して「食糧・健康・信仰・青年への希望」の 4 つの理想を掲げ、それらを実践する施設として清里聖アンデレ教会を始め、高冷地実験農場、聖ルカ診療所、聖ヨハネ保育園、農村図書館、農業学校などをアメリカやカナダなど多くの市民からの寄付によって建設しました。1980 年代後半からは時代の要望に応え、自然保護・環境保全・指導者養成のための「環境教育」とアメリカやアジア・アフリカ諸国との「国際交流・協力」をビジョンに加えて活動をしています。

事業内容

清泉寮、山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター、ポール・ラッシュ記念館、やまねミュージアム、清里聖アンデレ教会、レストラン・売店事業など

日程

1 日目	2 日目	3 日目、4 日目	5 日目
・オリエンテーション ・役員の方からの座学 ・施設案内	・役員の方からの座学 ・各部署へご挨拶 ・フロント業務	・フロント業務（予約システムについて） ・プログラム体験	・ハウスキーピング ・フロント業務
6 日目	7 日目	8 日目、9 日目	10 日目
・ハウスキーピング	・レストラン（団体対応） ・プログラム体験	・レストラン ・プログラム体験	・提案プレゼン

業務内容

- ・座学（キープ協会の歴史、公益財団法人の経営、ホテル経営について）
- ・フロント業務（予約システム、客室、露天風呂、暖炉などサポート業務）
- ・ハウスキーピング
- ・レストラン（ビュッフェ形式のサポート、団体対応）
- ・プログラム体験（ナイトハイク、星空プログラム）

受け入れ法人からのコメント

お客様をおもてなしさせて頂く裏側は地味な仕事も多いのですが、まじめで誠実な勤務態度に加え爽やかな笑顔は私たちも大いに影響も受けました。若い視点ならではの提案も非常に参考になりました。今後のご活躍を応援しております。

目標設定

私は3つの目標を定めてインターンシップに臨みました。まず1つ目は、「積極的に質問すること」です。少しでも疑問に思ったことをそのまま留めずに、その場で質問することを心掛けました。2つ目は、私がキープ協会をインターンシップ先に選んだ理由でもある、「公益財団法人の経営体系について学ぶ」ということです。株式会社とは異なりどのように利益を上げているのか疑問に思い、こちらについても目標にしました。3つ目は、サービス業界の代表格である「ホテル業のホスピタリティを体感し、自分も身につける」ということです。おもてなしの心を第一とするこの業界で働いている方々から、直に吸収できるのではないかと思いますこの目標を設定しました。

学んだこと

この2週間を通じて3つのことを学びました。最も感じたことは「働くこと」は楽しいかもしれないということでした。これまでの私には働きたくないという思いが強かったのですが、毎日が学びにつながったり、チームメイトと絆を深めたりすることで、和気あいあいと楽しんで働くこともできるのだと感じ取ることができました。次に、理念や目的に自分も共感できる会社に勤めることの大切さを実感しました。社員の方々がポール・ラッシュ博士の信念に共感しているからこそ、皆さんが一つの理念や考えを持ち、それを胸に抱いて働いている姿がとても素敵だと感じました。最後に、キープ協会では様々なキャリア経験を持った方々がいらっしやり、たくさんのお話を伺えました。そのため、もし新卒で入った企業が自分に合わなかったとしても、また新しい道へ進むチャンスはあるのだと感じました。

目標の達成度と今後の目標

目標の達成度としては80%であったと感じています。上記で示した3つの質問の「積極的に質問すること」に関しては、社員の方が何でも気軽に質問していいというお言葉をかけてくださったので、気兼ねなく質問をすることができました。また、「公益財団法人の経営体系について学ぶ」という目標についても、座学で丁寧に詳しく教えてくださったので、私の知りたかったどのように利益を得ているかなども知ることができました。そして、「ホテル業のホスピタリティを体感し、自分も身につける」ことに関しては、体感することはできましたが、まだ自分には身につけていないと感じています。丁寧なマニュアル通りではない暖かな清泉寮の接客を体感することができたので、これからの生活の上で清泉寮の方のホスピタリティを私も実践し、身につけていくことが目標となりました。

メッセージ

法人の方へ

この度は私を迎え入れて頂きありがとうございました。2週間という長いインターンシップで緊張していましたが、皆さんが優しく歓迎してくださったお陰でリラックスして実習に臨むことができました。ホテル業というものは事務作業も多く、また臨機応変にお客様にも対応しなければならないという、チームワークを必要とする仕事であるということを感じました。その中でも、皆さんの和やかな雰囲気や、強い信念を持ち働いていらっしゃる姿を見て、働くことは楽しいかもしれないと感じることができました。また、清泉寮の皆さんのホスピタリティ溢れた接客は、今後どのような職業に就く際にも役立つと感じました。私も皆さんのように暖かな心を持ち、これからの人生を歩んでいきたいです。清泉寮でインターンシップ実習ができたこと、また、皆さんと出会いは今後の人生の糧となりました。本当にお世話になりました。

外部講師の方へ

この度はお忙しい中、ご講演して頂きありがとうございました。講師の皆さんはとても輝いていて、どのようなお話も心に強く突き刺さるようなものばかりでした。ビジネスマナー講習では、メールの返信や電話の受け答え方法などを学ぶことができ、早速インターンシップ先への連絡に実践することができました。また、どの講師の方の講義の仕方にも参考にしたい点がたくさんありました。私も人に伝わりやすく、また感情を動かすような話し方を身につけたいと感じました。

受講検討生へ

このインターンシップという授業は、授業を通して就活に必要な知識・情報・心構えを身につけることができます。ゼミナールのような形で生徒と先生でディスカッションを行いながら授業を進めていくので、ただ講義を聞いてインプットするような就活イベントよりも濃い時間を過ごせます。また、2年生で就活を始めるのはまだ早いと考えている方にもオススメです。2年生という早い段階で3年生とともにディスカッションする機会や、就活だけでなく今後生活していく上でも役立てることができるカリキュラムとなっています。ぜひ検討してみてください。

外部講師授業報告

経営人事コンサルタント 船川治郎さん

日時：2018年5月30日・6月6日・6月13日

講師：船川治郎氏

報告者：菱田崇世

☆ どのようなことを授業で学びましたか？

船川さんの授業ではとても明るくビジネスマナーについて学ぶことができました。マナーにおいて最も大事なものは挨拶であり、就職活動や日常の生活においても感情を120%出した挨拶をすることが大事だと教わりました。普段あまり話をしない私にとっては「感情」を120%出す挨拶というものは新鮮であると同時にとても難しく感じたものの、船川さんの明るい雰囲気と授業により楽しく練習することができました。また、「自分の将来の夢」を設定しそれに向けた1週間レベルの目標を立て、3週にわたり実行し振り返ることで着実に自分の目標に近づくことができると教えていただきました。その際、すぐに実行して自分が良いと思ったら最後まであきらめずに実行し続けることが大事であるという、人生の教訓ともいえることまで教えていただきました。

☆ 講義を受けた感想をお願いします！

3週間にわたり、就職活動と社会人にとって必要な知識や情報、姿勢を教えていただきました。普段受けていた教授が話すだけの授業ではなく、相互にコミュニケーションをとるととても明るい授業でした。授業内での初めての外部講師の方だったため緊張感があったものの、明るく面白く教えてくださったためリラックスして楽しく授業を受けることができました。また、就職活動を行う上での注意点や意識すべき行動についての重要な部分についてもしっかりと教えてくださり、実際に練習させてもらったので身につけやすかったと思います。

船川さんが教えてくださった社会のルールやより良い人間として成長する方法などを就職活動に活かし、最後まで諦めず就職活動に挑んでいきたいと思います。また、社会人になった後も、生活の中で活かしていきたいと思います。

お忙しい中、3週間もの間授業をしていただき、ありがとうございました。

授業風景



合同会社 WARM HEART / 株式会社ころたち

代表取締役 古澤 彬さん

日時：2018年6月20日

講師：古澤 彬氏

報告者：櫻木 美希

◇ どのようなことを授業で学びましたか？

今回の講義のテーマは「応援」でした。最初に、受講生それぞれが自身のキャッチコピーと、直近で誰かを助けたこと・助けられなかったことについて発表しました。

次に、古澤さんのこれまでの経験と働く上で大切にしている価値観についてのお話をお伺いしました。東日本大震災を通じて東北の人を元気にできるよう起業し、その後の苦労についてのお話を聞くことができました。

古澤さんの行動は全て一貫して、今回の講義のテーマである「応援」が基盤となっていました。仕事とは誰かの悩みをみんなで解決することであり、一人ではできないものであると教えて頂きました。「応援したくない人」にならないよう日頃から意識して行動し、「応援したい人」を目指すことが重要であることを学びました。また、自分の意識を変えるだけではなく、応援する準備・応援される準備ができているか？という問いかけも頂きました。

最後に質疑応答を行い、学生それぞれの疑問や質問に真摯に答えて頂きました。

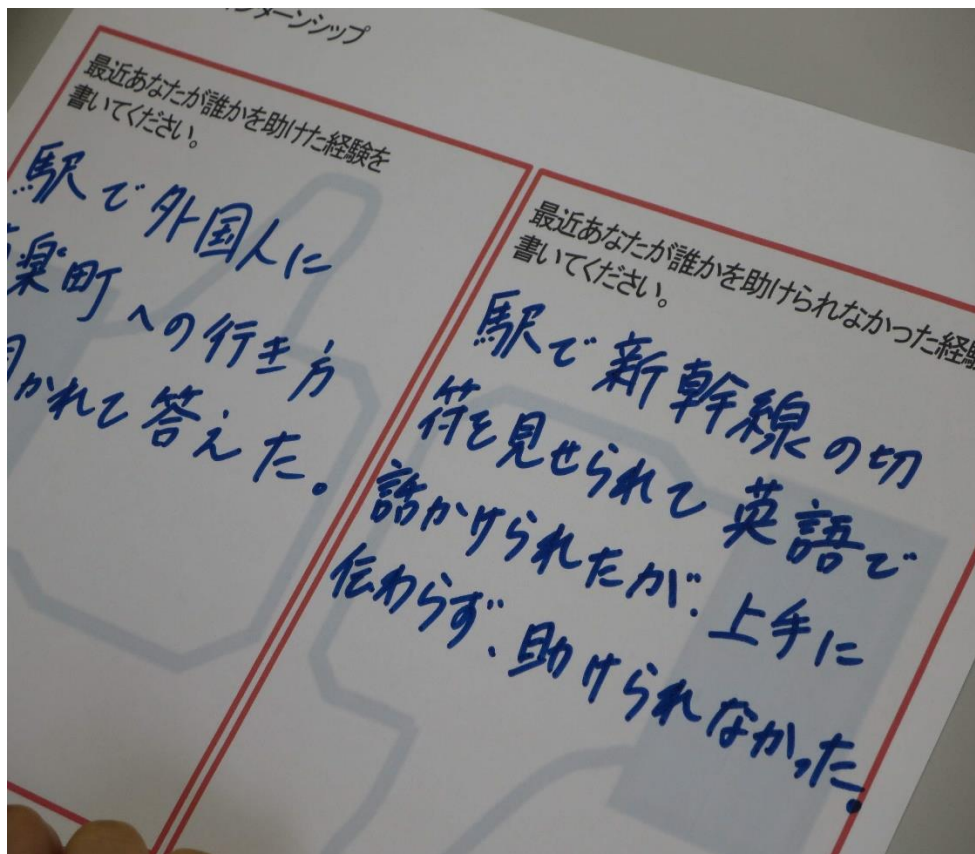
◇ 講義を受けた感想をお願いします！

お忙しい中貴重なお話を頂き、本当にありがとうございました。

私は起業をするというイメージがあまりできていませんでしたが、今回の古澤さんのお話は現実味があり共感することがとても多かったです。「応援したい人」を目指すことが重要だと学びましたが、就職活動が始まった今、その重要性をひしひしと感じています。自分が将来どのような人物になりたいかを考え、常に自分の内面と向き合うように心がけるきっかけになりました。

古澤さんから学んだことを忘れずに、学生生活に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

授業風景



インターンシップOG 常喜智子さん

日時：2018年6月27日

講師：常喜智子氏

報告者：多和田知実

☆ どのようなことを授業で学びましたか？

外部講師として来てくださった常喜さんは昨年この授業を履修していた四年生です。まだ私たちがインターンシップに対して、理解も少なく不安が多かった時期に、自分の経験のお話を聞かせて下さり、これからのイメージがわかりました。当時は企業のマッチングもできていない時期だったのでどんな企業に行きたいのか想像もついていなかったのですが、私自身も常喜さんのお話を参考にしてどのような企業に行くか気持ちを固められました。特に業務中に行ったことのお話はとても参考になりました。些細なことでもメモしたり、社員の方から自分から話しかけたり、実際のインターンシップでも実践させていただきました。私が一番心に残っているのは、自分が嫌に感じたこともメモするということです。説明会などでは企業の良いところしか教えてくれません。その企業の本質的なことは見えてこないのです。本質的なことは、その会社に通い、身近で見て初めてわかるものであると実感しました。講義の中では理解出来なかったことでしたが、インターンシップが終わった今ならば、その重要さがしっかりわかりました。

☆ 講義を受けた感想をお願いします！

常喜さん自身の就活体験を聞けて、とても参考になりました。情報は一次データに触れることや、自分の軸をしっかり確認することなど、実際に体験している方にお話を聞いたのはとても貴重でした。また、それから広がる議論もとてもリアルかつ様々な観点が絡みあっており、自分もしっかりしなくてはいけないと危機感を感じることができました。そして常喜さんから学んだことをしっかり就活に生かしていきたいと感じました。

お忙しい中、私たちに貴重なお話をしてくださりありがとうございました。

キャリアセンター 林良知さん 藤澤瞬さん

日時：2018年11月21日

講師：林良知氏、藤澤瞬氏

報告者：多和田知実

◇ どのようなことを授業で学びましたか？

林さん、藤澤さんとは、主に経団連が就職活動の日程に関するルールを2021年春入社
の学生から廃止することを決めたことについて議論しました。私はちょうどその影響を受け
る学年なので、とても勉強になりました。ルールがなくなることに対して、大学、企業、
学生の様々な面から考えることができ、なぜこのような改定が起きたのか、これからどう
すればよいのかが明確に理解できました。また就活のテクニックについてもご指導いただ
きました。三年生には面接のことなど、より具体的なことの相談に応じてくださり、二年
生には、これからすべきことを教えてくださいました。何から手を付けてよいかわから
なかったためとても助かりました。非常に勉強になりました。ありがとうございました。

◇ 講義を受けた感想をお願いします！

実際に立教大学生をサポートしているお二人なので、様々な質問に的確に答えてくださ
いました。私たちの素朴な疑問も真摯に受け止めてくれてうれしかったです。キャリアセン
ターを役立ててくださいというお言葉に影響を受けて、私はこの講義のあと実際にキャ
リアセンターへ相談に行きました。私が調べても出てこなかった情報や、考えなどを教
えていただきとてもためになりました。この授業での議論やご指導はもちろん、私
の中でキャリアセンターがもっと気軽に訪れることができる場所になったのが大きな
収穫でした。とても重要な体験でした。お忙しい中ありがとうございました。

インターンシップ OB・OG

滝沢亜耶乃さん・佐藤寿香さん・笹森祐輝さん

日時：2018 年 12 月 5 日

講師：滝沢亜耶乃氏・佐藤寿香氏・笹森祐輝氏

報告者：大沢吉正

☆ どのようなことを授業で学びましたか？

貴重なお話ありがとうございました。皆さんのお話は直近の就職活動に関するお話だったので、私たち受講生にとって大変勉強になりました。内容は IT 系や金融・証券系の企業の就職活動のお話を中心に、就職活動の実際のスケジュールなどに関して丁寧にお話してくださいました。その中で私にとって最も勉強になったのが「就活の軸」のお話でした。

それぞれが就活で企業とのマッチングを行う中で、なにを大切にしてきたのかというお話はネットや本の情報よりも非常にリアルなものとして感じることができました。また就活に関する身近な疑問にも答えていただきました。

☆ 講義を受けた感想をお願いします！

去年のインターンシップ OB・OGの方々からのお話ということで、勉強になることが多く、これからの就職活動の参考になるお話ばかりでした。インターンシップの授業では外部講師として社会人の方から何度かお話を伺いましたが、社会人の方とは異なる立場からのお話・アドバイスをいただくことができました。私はサークルや部活に所属していないので、同じ大学にそれほど先輩がいるわけではないので、このような機会を通して様々な立教生の先輩のお話を聞くことができ、とても有難く思っています。今回のお話を自分自身の就職活動に活かしていきたいと思います。お忙しい中、ありがとうございました。

インターンシップ OG 川口真穂さん

日時：2018年12月19日

講師：川口真穂氏

報告者：大沢吉正

☆ どのようなことを授業で学びましたか？

貴重なお話をありがとうございました。今回のお話で参考になった点が3つあります。一つは学生生活で熱意を持って取り組むことの意義です。

川口さんのお話で私が強い印象を受けたのが、ゼミに関するお話でした。渡辺ゼミに所属されていたということで、非常に多忙な学生生活を送られていたこと、その努力が就活の際にアピールポイントになったというお話は、私たち2・3年生にとってこれからの学生生活の過ごし方を見直すきっかけになりました。

二つめは就活におけるOB訪問の重要性です。私はちょうど今回のお話を聞いたときからOB訪問を始めていたので、とても参考になりました。具体的な内容としては川口さんがOB訪問でどのような質問をされたのか、訪問の際に企業の情報などではなく個人の深い内容の話を聞くことなどです。

三つめは面接などの採用に関するアドバイスです。直近のお話だったので就活を控える私たちにとって、とてもありがたいアドバイスをいただきました。

☆ 講義を受けた感想をお願いします！

私は川口さんのお話を聞いて、気持ちが引き締まりました。様々なお話を聞きましたが、そのなかでも最も印象に残っているのは、OB訪問のお話でした。川口さんの経験談で、企業の前で退勤する社員の方を待ち突撃のOB訪問を行ったということです。私は正直そこまで熱意をもって就活を行っていなかったので、川口さんのように熱意のある方と比べられたら、太刀打ちできないと思いました。しかし、今回川口さんのお話を聞くことができたのは、私にとって大きな収穫でした。その理由は、まず就活生の中には川口さんのような人がいると認識できたことです。そして私もこれからのOB訪問に熱意をもって取り組もうと思いました。しっかりとした目的意識を持つことで、より大きな効果を得ることができると感じました。

お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。

学生の皆さんへ

立教大学経済学部キャリアサポーター 長島修子

学生の皆さんは「授業でインターンシップ？通年？夏休み 2 週間あれば 1day インターンシップいくつも行けるし・・・」と思うかもしれません。でもちょっと待ってください。中身を知れば、なぜ経済学部が 10 年以上前からこの授業を続けているのかわかるはずです。

まず、春学期は実習前の準備期間ですが、経済学部ならではのビジネス書をベースに「仕事」「企業」「働き方」といったテーマでのディスカッションが、さながらゼミのように展開されます。少人数だからこそ、毎回発言の機会があり、そのプロセスがすでに論理的に考えてわかりやすく他者に伝えるトレーニングの場となっています。

もちろん、ビジネスマナーについても学びます。学んだ後は、教室に入る際の挨拶の声が変わります。これまでの 2 倍（人によっては 3 倍！）の音量で「おはようございます！」。学んだことはすぐに実践します。

メインとなる夏の実習では、仕事現場に深く入り、企業のリアルな業務を目の当たりにできます。法人営業に同行したり、ヘルメットをかぶって建設現場の内側に入ったり、1 社で生産と販売のどちらも経験させてもらった、という事例もありました。

また、2 週間という期間があるからこそ社員の方との距離も縮まります。昼休みにざっくばらんに本音の話が聞けるのも貴重な体験です。こうなるともう毎日が OB 訪問です。

経験を学びとして定着させるために、授業では振り返りを大切にしています。秋学期に入ると各自 PPT を作成して実習の成果や課題を報告します。他の受講生の経験をシェアできるのも授業だからこそ。報告書を通して経験を外部に公開することにより、次年度の協力企業や受講生に働きかける、という大きなミッションも果たすことになります。

最後に、この授業が採用直結インターンシップと最も違う点は、どの企業も「人材育成」の視点でプログラムを準備してくださっていることだと思います。やはり、実習先が立教大学の卒業生とご縁のある企業に限られているからでしょう。「学生に力をつけて社会で活躍できる人になってもらいたい。」その誠意に支えられているのがこの授業です。それは経済学部キャリア教育と共通の想いでもあります。

ここまで読んで、「ちょっと考えてみようかな・・・」と心が動いた人は、ぜひ遠慮せず今年の受講生にコンタクトをとってみてください。きっと熱い体験談が聞けると思います。

おわりに

立教大学経済学部 菊池 航

立教大学経済学部のインターンシップは、就業体験を積むということだけではなく、就業体験を通じて、社会で活躍するために大学時代にするべきことは何か、を学生に考えてもらうことを重視しています。そのため本年度のインターンシップでは、三谷教授の主導のもと、インターンシップの前後において、社会はどのように変化していくのか、会社とはどのような存在か、学生に求められる能力とは何か、といった問いを学生と考える時間を大切にしてきました。会社での実践と大学で学ぶ理論を往復することで、私は学生の成長を感じましたし、学生自身も大きな成長を実感できたのではないかと考えています。

本報告書は、受講生の大沢吉正さんが中心となってまとめられたものです。講義でも常に積極的に発言をしていた大沢さんが、報告書の全体構成を手際よくまとめてくれました。表紙のデザインは、同じく受講生の杉村萌さん、山田風美さんが制作してくれました。この3人と、ゼミにおいても三谷教授のもとで学んでいる櫻木美希さん、労使関係を専門とされる首藤教授のゼミで学んでいる多和田知実さん、ギターと読書を趣味としている菱田崇世さんの6人の豊かな経験がまとめられた本報告書は、これからインターンシップの受講を考える学生にとって有益なものであると思います。また、社会との関わりのなかで学生が成長してゆく読み物としても、興味深い内容になっていると感じています。本学の教育活動に関心を持ってくださいる方にも、ぜひ手に取っていただければ幸いです。

学生を受け入れてくださった E.OCT 株式会社、株式会社大塚商会、オリエンタル酵母工業株式会社、公益財団法人キープ協会清泉寮、株式会社日本旅行、株式会社フジタ（五十音順）の皆様には、心から御礼申し上げます。

最後になりましたが、立教経済人クラブの皆様には、インターンシップのマッチングなど、言葉では言い尽くせないほどお世話になりました。深く感謝申し上げます。

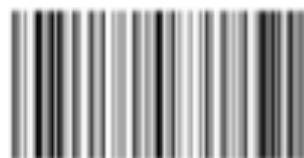
2018 年度 立教大学 経済学部 インターンシップ報告書

編集者 立教大学 経済学部

住所 〒171-8501

東京都豊島区西池袋 3-34-1

発行日 2019 年 2 月 4 日



発行元 : 立教大学 経済学部 正課キャリア科目
「インターンシップ」

場所 : 4号館 4251教室

時間 : 水曜2限 10:45-12:15

